



昔ながらの田車除草の様子です。毎日、田んぼに足を運んで稲の面倒を見る人がいるから稲は元気に育つことから、「稲は足音を聞いて育つ」と言われていますが、本校の稲は、たくさんの生徒の足音を聞いて育っています。収穫が楽しみです。



ダイコンの収穫が終わりました。4月末に播種したものです。その頃はまだ霜の恐れがあるため、播種後は毛布の役目をする資材を畑に被せ、種子を低温から守ります。なぜならダイコンは、種子春化型といって、種子の状態が低温にあうと、とう立ち（花が咲くこと）してしまうからです。



十和田市のご当地グルメと言えはバラ焼きで、バラ焼きに欠かせない野菜と言えはタマネギです。バラ焼きは、B-1グランプリ郡山大会で念願のゴールドグランプリに輝きました。現在十和田市では、バラ焼きを提供している店が約80店舗と言われるほど、ソウルフード的な存在となっています。

San Farm Gallery 2017 Vol.6

三農の農場に生息する様々な植物や動物は、季節の移り変わりとともに姿や景色を変え、私たちの目を楽しませてくれたり、心をときめかせてくれたりします。San Farm Galleryでは、そんな農場の1コマを紹介します。

三農農場部



ニンニクは10月上旬に播種し、7月上旬に収穫するというサイクルです。独特な臭いのもとはいりんという物質です。いりんは本来無臭なのですが、刻んだりすりおろしたりするとアリイナーゼという酵素の作用で、アリシンという物質に変化し、強いニンニク臭を発します。



ウメは、サクラ・リンゴ・モモなどと同じバラ科植物で、果実は子房が肥大したものです。この時期に収穫される梅は青梅で、梅酒などに利用されるものです。梅干し用に最適な梅は、よく熟して枝から落ちた完熟の梅です。



松のみどり摘みが行われています。みどり摘みとは、新しく出た「みどり（新芽）」の不要な部分を折り、枝が欲しいところは軽めに折って残しておく作業のことです。葉の量を減らすことで、成長を抑制することができます。こういう地道な作業の積み重ねで、三農の環境が美しく保たれています。